

微地形を計測した浸水シミュレーション

日本インシーク

1、浸水対策ソリユーションの概要

昨年の台風19号における多摩川沿いのマンション地下浸水など、近年の集中豪雨の増加や都市部を中心とした土地利用の高度化により、浸水リスクは増加しています。これらの浸水リスクに備えるため、ICTや浸水シミュレーション等を用いて、既存ストックの有効活用による雨水対策、減災を目指す情報発信の整備が急務となっています。

2、これまでの実施事例

①浸水シミュレーションを活用した浸水対策
既存ストックを適切に評

価し、効率的な浸水対策を提案します。

②河川と下水道の一体解析による浸水対策

内水地域は、下水道管路が整備済みでも排水先河川水位によって排水能力が左右されます。管路と河川を一体解析することにより、河川水位を考慮した浸水対策を提案します。

③レーザースカナで微地形を計測した浸水シミュレーションによる効率的な浸水対策

建物等が混在する地形や地下空間等の特殊な地形は、航空レーザー測量の地盤高情報では不十分です。

現した浸水シミュレーションにより効率的な浸水対策を提案します。

④内水ハザードマップの作成

整備済み区域は下水道管路と地盤高をモデル化した詳細解析、未整備区域は地盤高をモデル化した簡易解析等により、整備状況に応じた内水ハザードマップを作成します。

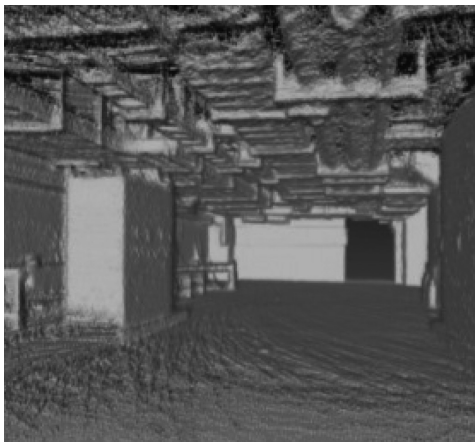
3、今後の事業展開

①雨水管理総合計画

雨水管理の長期方針の雨水管理方針、当面・中期の段階的対策計画を合わせた計画です。段階的対策計画では、既存ストックを活用してL1、L2降雨において防災・減災効果を発揮できる施設計画を提案します。

②水位周知下水道と施設運転支援

降雨情報、流量・水位情報より浸水予測シミュレーションを行い、避難情報の提供、雨水ポンプ場等の効果的な運転を行うための情報を提供します。



レーザースカナによる地形計測で精度向上

を的確に再